

2026 6月

# 鷹栖町図書館に新しくいった本

(5月分より)

## たかす(一般)

『劇場という名の星座』(小川洋子/集英社)

『人と暮らせない』(石橋典子/日刊現代)

『ミステリーな北海道』(渡辺淳一/河出書房新社)

『青のナースシューズ』(藤岡陽子/KADOKAWA)

『人と暮らせない』(石橋典子/日刊現代)

『たったひとつの雪のかけら』(ウンヒギョン/集英社)

『るるぶドライブ北海道ベストコース'27』(JTBパブリッシング)

『岩崎ファームが教える野菜の食べ方』(岩崎ファーム/KADOKAWA)

『絵本と子どもと歩いた日々』(山脇百合子/のら書店)

☆新しくいった本は他にもございます。  
図書館では新着図書のリストを配布しております。また、鷹栖町図書館の蔵書検索から探すこともできます。



『すべてが円くなるように』(原田マハ/幻冬舎)

『君の不在の夜を歩く』(窪美澄/新潮社)

『月とコーヒー3』(吉田篤弘/徳間書店)

『短歌ください 反対に回して篇』(穂村弘/KADOKAWA)

『それ、死後もお宝ですか?』(古田雄介/集英社インターナショナル)

『リュウジ式生きるための弁当』(リュウジ/ライツ社)

『はじめてのパルダリウム』(佐藤拓郎 監修/成美堂出版)

## たかす(児童)

『しば犬こたと天国のモモ』(影山直美/神宮館)

『おしえて!パンやさん!』(麦音/世界文化社)

『10かいだてのゆうしゃのおしろ』(のはなはるか/PHP研究所)

『わたしの夏 牧場で』(堀直子/新日本出版社)

『ネット・ゲームとのつきあい方』(関和之/旺文社)

『どうする進路選択』(山本尚毅/Gakken)

『ゆうれいだきのでんせつ』(朱華/岩崎書店)

『かぶと』(藤川智子/講談社)

『もしもわたしが』(ユンミスク/童心社)

『がっこうのおばけずかん おばけじゅぎょうさんかん』(齊藤洋/講談社)

『頭のいい子がやっているすごいグラフの読み方』(バウンド/カンゼン)

『こどもにのいのふしぎ』(東原和成/ライフサイエンス出版)

## きたの(一般)

『はるを呼ぶ』(実石沙枝子/ポプラ社)

『最果てキッチン』(高山環/ポプラ社)

『ドキュメントSAS』(吉田貴司/KADOKAWA)

『有名人の愛読書、読んでみました。』(ブルボン小林/中央公論新社)

『日本・世界地図帳 2026-2027年版』(朝日新聞出版)

『子どもの防犯・防災で知りたいことが全部のつる本』(国崎信江 監修/主婦の友社)

『とにかく野菜!旬を食べたいレシピ帖』(植松良枝/NHK出版)

『六月の満月』(一雫ライオン/流星舎)

『人に言えない秘密があります』(高橋源一郎/毎日新聞出版)

『魔女の体力』(イオンミ/世界文化社)

『一度は訪れたい花の名所』(成美堂出版)

『世界遺産「熊野古道」歩いて楽しむ南紀の旅』(伊勢・熊野巡礼部/メイツユニバーサルコンテンツ)

『図解でわかる社会保障』(山下慎一/中央法規出版)

『色柄を楽しむ、大人の服』(美濃羽まゆみ/日本ヴォーグ社)

## きたの(児童)

『きゆうしょくのじかん』  
(加藤休ミ/Gakken)

『1がかけたよ』(リウロンシャ/岩崎書店)

『ンビリの王子、旅にでる』(長江優子/くもん出版)

『アイデア無限大! 畑の虫の防ぎかた』(農文協 編/農山漁村文化協会)

『こいのぼりぐんぐん』(おおいじゅんこ/ほるが出版)

『旅館』(かねこまき/新日本出版社)

『こぐまたんていアイビー』(クリスティーナ・リッテン/マガジンハウス)

『ときめき百人一首 増補版』(小池昌代/河出書房新社)

ほか

~鷹栖町図書館の本はふるさとまちづくり応援寄附事業の寄附金を活用して購入しています~



## 図書館だより



### 6月23日(火)休室のお知らせ

棚の増設に伴う蔵書の入れ替え作業のため、鷹栖町図書館はお休みとさせていただきます。本の返却は「返却ポスト」をご利用ください。

また、北野分室は通常どおり開室しておりますので、ぜひご利用ください。

5月の本棚リレーは  
佐藤安英さんでした。



5月の音楽のある図書館は  
ボサチゅんさんによる  
ボサノヴァの世界でした。

